

みんなの町議会



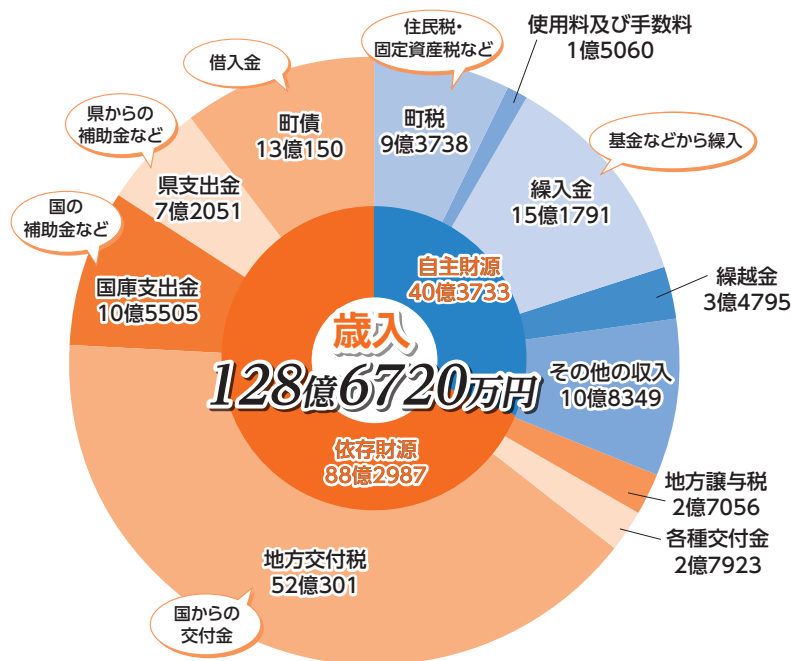
決算質疑	4
一般質問	8
こんなことが決まったよ	17

を決算認定

歳入

前年度比で、10億130万円の減、率にして0・8%の減である。主な要因は、繰越金や県支出金などの減額によるものである。

一般会計 **128億6720万円** (歳入)



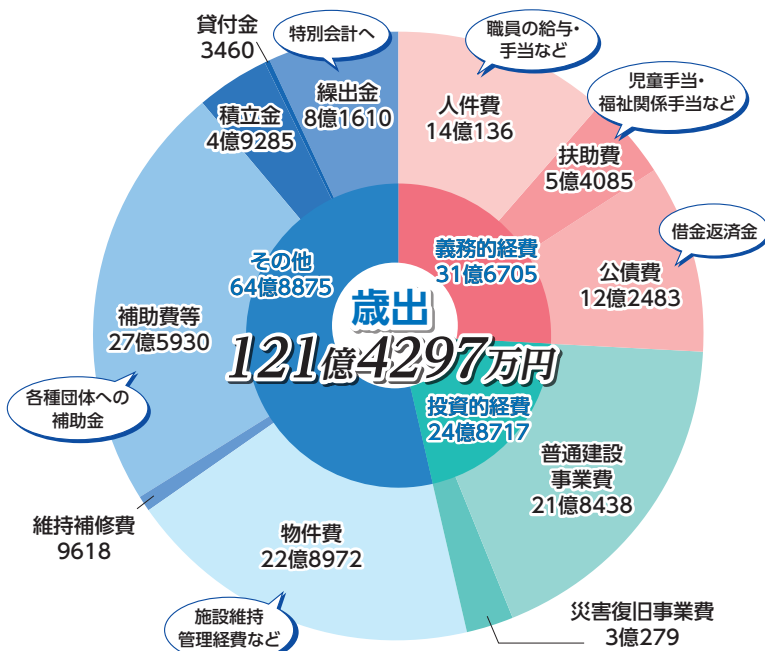
**9月
定例会**

9月定例会は、9月4日から9月25日まで開かれました。令和5年度の全会計を決算認定し、令和6年度の補正予算を含め30議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。一般質問では、9人が町長、教育長に行政課題などについて質（ただ）しました。

歳出

前年度比で、1億8758万円の減、率にして1・5%の減である。主な要因は、過年度災害復旧工事の終了による減額によるものである。

一般会計 **121億4297万円** (歳出)



(単位万円) (四捨五入)

令和5年度
決算

金会計

令和5年度決算

経常収支比率は81.2%、実質公債費比率は6.2%で昨年より0.2ポイント増となった。実質収支は黒字決算で6億4054万円を翌年度に繰り越す事業に充てるとともに、2億9000万円を財政調整基金に積み立てた。

基金総額は約111億346万円で前年度と比較すると約7億1370万円、率にして6.0%の減となった。基金運用収益は約3722万円であった。

以上のことから、令和5年度の財政運営は健全かつ適切である。

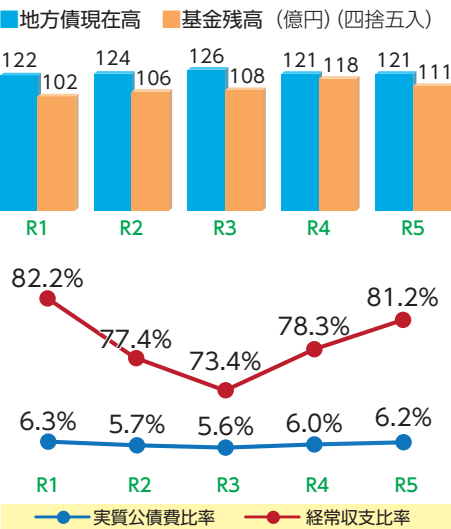
しかし、自主財源は31.4%依存財源68.6%となっており、引き続き危機感をもって行財政運営に努めていくことを望む。

令和5年度 各会計歳入歳出総括表

単位：万円（四捨五入）

会計名		歳入決算額	歳出決算額	繰越財源	差引残高
一般会計		128億6720	121億4297	8369	6億4054
特別会計	国民健康保険	10億2982	9億6211		6771
	後期高齢者医療	3億4981	3億4835		146
	介護保険	19億6053	18億8265		7787
	飲料水供給施設事業	4566	4036		530
	農業集落排水事業	2億3784	2億1033		2751
	総合開発事業	510	510		0
企業会計	病院事業会計	5億1000	5億1000		0
合計		170億594	161億186	8369	8億2040

決算指数の推移



※経常収支比率とは
財政構造の弾力性を表すもの。
（高すぎると新しい施策が出来なくなる。）
70～80%が理想とされる。

※実質公債費比率とは
町の収入に対する負債返済の割合を示す。
（18%以上だと借入に国・県の許可が必要）

令和5年度 決算質疑

総務課

防災対策経費

柏床議員 地域防災計画等改定業務で、主な改定内容と周知は。

総務課長 大きく6項目の改定である。

①災害対策基本法の改正にともなう避難行動要支援者にかかわる個別計画の作成。

②国の防災計画、県の地域防災計画の改定にともなう、盛土による災害防止対応、女性の視点を踏まえた防災対策の推進。

③防災施策を踏まえた改定で、気象庁や県の災害危険度情報、警戒レベル5相当の設定とレベルの色分けの変更。

④庁内組織の変更にと
なう配備態勢の変更と文書事務の改定。
⑤地域避難所の変更。
⑥ドローンを活用した災害対応の追加。
警戒レベルなどの改定は町広報で周知した。地域の指定避難所の変更で、神石地区、準基幹避難所の山村開発センターを3月末に廃止し、新たに老人福祉センターを指定した。住民へ周知を早急にしたい。

住民課

地籍調査の遅延

小川清議員 地籍調査事業遅延地区解消の時期は。

住民課長 具体的な時期は言えないが、最優先課題として遅延地区解消に努める。

町民税の不納欠損処理

小川善議員 外国人就労者による住民税の不納欠損処理の対策は。

住民課長 個人住民税は翌年度に賦課、徴収をする仕組みで、納税通知書を発送した時点で、国内転居、国外転出をされ徴収ができない事例が増加している。

多言語のチラシで、特別徴収税額の一括徴収や納税管理人（本人に代わり税金の手続きを行う人）の選任など事業者の方への協力依頼を行っている。

教育課

神ゼミの成果

林議員 A〇入試に特化した教育実践活動に重きを置いた、神ゼミの能力向上の成果は。

教育課長 延べ22人が参加。偏差値能力、メタ認知能力を重要視している。大学の入試や就職の試験に成果がある。

未来創造課

地域おこし協力隊活動

小川善議員 有害鳥獣駆除に3人採用したが任期を終了されたのは1人だけだった。検証と対策は。

未来創造課長 任期の途中で将来のめざす姿や思いが変化する場合もある。

募集の段階で、地域の思いをしっかりと伝え、応募者の考えを聞き地域とのマッチングを経て最終面接をしている。今後とも職員や地域とともに協力隊に寄り添い

ながら、定住に繋がるよう努める。

福祉課

福祉医療経費

柏床議員 子ども医療費負担事業で、受診件数、年齢別受診数や医療機関別や病気の種類などの統計数値と町外から通学する油木高校生の受診件数は。

福祉課長 国保連合会、社会保険診療報酬支払い基金からの療養費の請求・資料は来るが、年齢別受診数などは含まれていないため、詳細な統計は取っていない。
町外の生徒は、292件である。

産業課

補助金で購入した備品



神ゼミでのグループ発表

久保田議員 監査の指摘として日本オーガニックレτζが、補助金により購入した備品の一部が未使用のまま廃棄処分され、その他多くの備品は利用されていない。
利用しない備品をなぜ購入したのか。

産業課長 プリンターは、長年使用しておらず接続不良やインクが固まり廃棄処分した。

久保田議員 「有機の里」構想があり全額町費で事務所や備品購入したが就農者は何人か。

産業課長 1名研修を受ける予定だったが、他で研修し就農者はいない。

久保田議員 利用していない備品は必要がないからだ。目的外使用であり補助金返還請求すべきでは。

産業課長 補助要綱に補助金返還請求はなく出来ない。

久保田議員 今後この施設をどうするのか。

産業課長 町はオーガニックビレッジ宣言をしており有機農業推進協議会や農研機構などと協議し研修生受け入れを進める。

健康衛生課

総合検診受診率

寄定議員 総合健診の現状と課題、今後の目標は。

健康衛生課長 受診対象者数7482人、受診率23.3%である。
若い世代の受診率が低く、がん検診受診率の減少傾向が課題である。今後、がん検診の受診率向上をめず。

健康マイレージアプリの活用

横山議員 未病への取り組みでアプリを使用し健康増進に取り組んだ現状と成果は。

健康衛生課長 住民の健康づくりを進めていたために進んでいる事業で、健康マイレージアプリは200人の目標に対して219人が活用しており、大きな成果である。

子育て応援課

子ども食堂

横山議員 各協働支援センターで行われている子ども食堂の利用率が低いのでは。

子育て応援課長 協働支援センターと連携して利用率向上を図っていく。

予防接種事業

寄定議員 子宮頸がんを予防するHPV予防ワクチン接種のキャッチアップ接種状況は。

子育て応援課長 接種状況は、令和4年度35人、令和5年度8人、令和6年度10人（8月1日現在）。引き続き、接種の有効性を含め制度の周知・接種勧奨を進める。

子育て世代訪問事業

横山議員 委託料154万円の事業成果は。

子育て応援課長 この事業は、家事や育児に不安を抱える世帯を訪問して支援をする事で、家庭の養育環境を整え、虐待リスクを未然に防ぐ事を目的としたもので、令和5年度で検討した結果、今年度で2か所の訪問事業所と委託契約書を結ぶように進めている。

保育所の児童数

寄定議員 保育所入所児童数の推移と今後の方針は。

子育て応援課長 今後も入所児童数の減少が想定される。油木・豊松保育所施設の老朽化、入所児童数の減少、保育士の確保が困難であることなど、保育所運営の課題が多い。

介護保険特別会計

林議員 介護支援専門員、ケアマネージャーの点検内容と評価は。

福祉課長 令和5年度に町内の介護支援専門員3人を重点的に確認し、8項目の点検を実施。全体的に適切なケアプランが作成されていると評価した。



児童数の減少が課題の保育所運営

病院事業会計

医療機器および
備品購入整備事業

柏床議員 備品購入費

1903万円の支出で、
へき地医療拠点病院設備
整備事業補助金の申請額
と交付決定額と補助率は、

健康衛生課長 申請額は、

人工透析装置1116万
円で交付決定額は401
万円となった。

補助率は、10/10と
なっている。交付決定額
は県の予算により決定。

柏床議員 町が約70

0万円の負担増となるが、
県に対しての補助金の増
額要望は。

副町長 町村会、内陸

部振興協議会を通じて要
望活動を取り組んでいる
が、具体的な事案として
県に提案し要望したい。

林議員 訪問診療、

看護、在宅復帰、リハビ
リテーション達成率向上
の取り組みは。

健康衛生課長 町内外の医

療機関との紹介率向上に
努めている。令和5年度
の在宅介護実績は、訪問
診療121件、訪問看護
889件、訪問リハビリ
650件。

国民健康保険 特別会計

林議員 国民健康保

険税の負担軽減策と県へ
の働きかけは。

住民課長 国保財政調

整基金からの繰り入れで
急激な上昇を抑えると、
ともに中間所得層の負担
軽減措置を講じている。
国や県への要望も町村会
を通じて行っている。

林議員 保険事業の

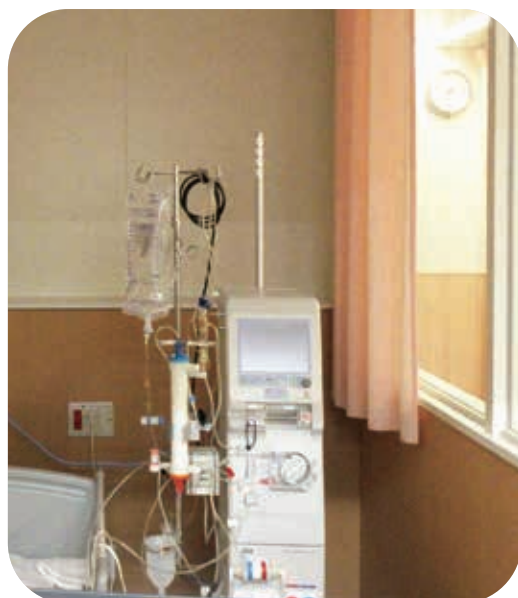
充実、医療費の適正化の
評価は。

健康衛生課長 保険事業の

充実、データヘルス計
画を策定し、取り組んで
いる。

福祉課長 医療費適正

化は、ジェネリック医薬
品の普及促進を進めてい
る。



購入した人工透析装置

補正予算

9月補正予算〔一般会計補正予算総額 3億82万円 一般会計補正後予算現計 126億4389万円 (四捨五入)〕

旧坂瀬川公民館
解体工事

2420万円

国道182号線改良にともなう
公民館・老人集会所解体工事



豪雨災害対策経費

1億1695万円

令和6年7月、8月豪雨復旧工事
道路4件、河川2件、農業施設他

町道整備事業

2000万円

令和8年開催のスカウトジャン
ボリーに向けた測量設計委託



令和5年度 決算審査意見書（抜粋）

令和5年度神石高原町各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書は関係法令に準拠して作成されており、決算数値はいずれも関係諸帳簿等と符合し正確である。予算の執行は、適正である。基金運用状況については、計数は正確であり、その運用状況は、神石高原町各基金条例の規定に基づき、目的に従って適正に行われている。

代表監査委員 橋本 龍之
監査委員 木野山 孝志



町長へ監査審査意見書の提出

審査の意見

令和5年度決算にみる歳入財源内訳は、自主財源率が1.9ポイント改善しているが、財政基盤の脆弱な本町においては、なお一層効率的で健全な財政運営が求められる。

1) 町税および使用料等滞納繰越状況について

滞納繰越額が、前年対比約1割増額している。不納欠損額が前年対比249.5%と増大している。負担の公平性を損なうものであり、厳正な取り扱いを求める。

2) 井関地区第2定住団地整備事業について

ニーズに合った住宅の建設と着実な事業推進を求める。

3) 地籍調査事業の停滞地区の解決について

国・県の対応強化を求め、地籍調査事業の早期完了を強く求める。

4) 保育所指定管理基本協定書並びに指定管理年度の見直しについて

指定管理料の条項を見直し、相互に協力し、適格な管理業務が実施されることを検討されたい。

5) 病院事業会計について

病院経営において、一般会計からの財源負担額も今後厳しい状況となりつつある。地域住民の信頼確保を第一義として、町内利用率の底上げをめざし、「病院強化プラン」を基に、より一層の財源確保に努めるとともに、住民ニーズに寄り添った医療提供に努め、継続的に地域医療体制を確保されるよう鋭意努力されたい。

問 任期中での誇りの持てる仕事は

答 子育て支援、教育支援の拡充だ



久保田 龍泉 議員

問

今任期を振り返り、挑戦のまち神石高原町をスローガンとして掲げ2期8年町のトップとして各施策を推進してこられた。しかし人口減少の波は止まらず、いまだ厳しい状況が続いている。

任期中は大事業であった本庁舎の新築移転や町立病院の新築移転、くろみ、こばたけ保育所の新築、豪雨災害による復旧事業、コロナウイルス感染症対策、物価高騰対策、保育料の無料化、子ども医療費無料化など、その他多くの事業を推進してこられた。

答

町長 質問の中で紹介のあった各分野において全世代の町民が利用し安心して暮らせる町づくりを行ってきた。現在も重要基盤となる安定した行財政運営を柱に多くの施策に取り組んでいる。今年度は町づくりの中心に子育て支援の充実をクローズアップし、子育てと教育支援策の拡充に注力している。

また、住民生活の変化は人口減少である。地域では自治会の役員のなり手不足や道路の草刈りができなくなりそうなど切実な悩みや課題を聞く機会が多くなった。少子化、高齢化社会はインフラや民間サービス

これらの施策を行った結果、町民に対し自信を持つて言えること、住民の生活はどう変化し、どのような成果があったか将来に向けてどのように繋げていくのか。

の縮小、廃止へ向かい、地方の人口減少は負のスパイラルと化している。農林業を基盤として発展してきた町は、人口減少があらゆる分野に影響をおよぼし町民の生活環境は急速に変化している状況だと考える。

成果は、協働支援センターを設立し町づくりの推進に取り組んできた。公共施設の耐震化や機能強化を行い安心の拠り所が整備できた。

医療、福祉、子育てしやすいの充実では生活交通機関確保事業や18歳までの医療費完全無料化などニーズに応える施策を展開できた。これまでの行政経験と8年の町長経験により国、県、企業とのパイプを強固にし、多くの有益な繋がりを築いた。

将来にどう繋げていくかは、『人』で、町の人口維持の面から地域で元気に活躍いただける健康寿命の延伸がカギになる。

環境ではデジタル技術との連携浸透は人々の生活をもっと便利で豊かにすることができると考える。

小規模化する集落コミュニティを見据え、協働に取り組みさまざまな連携先と協働、役割分担しながら地域での生活を送る。



元気で玉入れこばたけ保育所運動会

問 井関地区第2定住団地整備状況は

答 現在、プロジェクト会議で検討中



おがわ せいじ 議員 小川 清治

問 井関地区第2定住団地は、平成30年災害に伴い延期されていた。

子育て世帯や若者定住に特化し、令和4年度基本計画策定、令和5年度で民間事業者の導入可能性調査を行われたが、参入事業者はなく町営住宅建設に至った。

今年度政策企画課から建設課に事業は引き継がれボーリング調査と測量設計が行われる。

3月定例議会会で事業説明を受け、議会から町独自の子育て世帯や若者定住住宅になるよう要望をした。

事業延期で時が過ぎ、この間法律改正もあり当初計画を変更することに

なったが、全体概要や特化した町営住宅整備の計画は。

答 町長 現在測量調査設計業務を入札執行中である。早期に整備を指示していたが豪雨災害での延期や令和5年から盛土規制法により造成工事をより慎重に行う必要性があり、下流水路の氾濫、残土搬出など住民生活に大きな影響をおよぼさない範囲での造成規模となり、全体概要は、それらを判断して決定する。

町独自の子育て世帯に特化した住宅整備は、現在、建設課を中心としたプロジェクト会議で検討中。

問 決算審査意見書に「平成29年度から令和5年度までに約4500万円の経費と、7年の年月を要している。平成30年豪雨災害や、盛土規制法のし工により状況の変化があったが、求められているスピード感は見

られない。ニーズに合った住宅の建設と着実な事業推進を求める。」とあるが、対応は。

答 町長 真摯に受け止めた。豪雨災害対策を最優先に取り組んできた。県内全域で災害復旧して業者もない状況だった。その間、さまざまな手法を検討したが、結果的に町営住宅建設に至った。

問 福山北工業団地内へ勤務する人へ募集範囲を拡大すべきでは。

答 町長 通勤圏内なので拡大募集したい。

問 今だに調査測量、事業計画を確立できていないのは残念だ。

挑戦のまち神石高原町、人と自然が輝く神石高原町のため、スピード感をもって、着実に事業推進し早期の完成を願う。

答 町長 プロジェクト会議を中心に早期の着工完成をめざし、人口



井関第2定住団地予定地空撮

減少対策、若者定住対策、まちの魅力化のためにもスピード感をもって取り組む。

問 令和6年度全国学力テストの結果は

答 学習指導の充実を図りたい



きのやま たかし 議員
木野山 孝志

問 新型コロナウイルス感染症の対応で教育

確かな学力の定着・向上を図ることは十分でなかった。課題の把握や対応策を明確にし、学習指導の充実を図りたい。

県平均と比較すると、小学校では、国語▲4%、算数▲2%。中学校では、国語±0%、数学▲6%であった。

答 教育長 平均正答率は小学校では、国語65%、算数62%、中学校では、国語58%、数学46%である。

問 令和6年度全国学力テストの結果は、判明した課題と対応策

体制の変更などによる影響は。家庭学習が増え本町特有の対面授業は出来たのか。

答 教育長 全員前を向いての一斉授業が主となったので協働的な学びを推進することが難しかった。

現在は、グループ全体で学習することが可能となり、「対話的学び」というものを今後も積極的にやりたい。

問 国や県は結果公表と対策を公表している

答 教育長 各学校のホームページや学校便りなどにより公表している。

対策としては、研修の充実や指導・助言を積極的にに行い、授業改善をさらに進めたい。

問 一部公表が出来ていないが今後の対応は、

答 教育長 各学校の判断で色々な方法で周知している。

問 全国学力テストは、日本の将来を担う子ども達に求められる基礎学力とそれが基になる応用力、すなわち「確かな学力」の取得について調査し、そして成果と課題を分析し改善を図ることを目的に行われる。

神石高原町で学んだ子ども達が社会人として厳しい社会を生き抜くために必要な「確かな学力」をしっかりと育成し、社会に送り出すことが我々に課せられた責任である。教育環境と教育体制、そして確固たる指導力が問われている。

「教育」は国造りの上で「100年の大計」である。

わが町には古代から今日まで独特の歴史と伝統文化が息づき受け継いだものがある。それをしっかりと生かしながら、も

う一度「教育」の本質に立ち返り、「人づくり」に町の将来を託すべきでは。

答 町長 教育は一丁目一番地という形で、油木高校支援を含め予算を注いでいる。色々しっかりと活用しコミットして行きたい。

答 教育長 子どもたちの学力をつけるための授業改善が必要。先生方一人ひとりが力をつけていく事が子どもの学力向上に繋がる。今後も取り組みたい。



再開されたグループワークで対話的学びの学習



ふじ 藤田 とう き 晃己 議員

問 報酬審議会を開くべきではないか

答 町民の考えも聞きながら検討

問 全国的に議員のなり手不足が問題になっているがこの状況を考えたとき、二元代表制の趣旨が損なわれ地方自治の弱体化を招く恐れがあるのでは。

答 町長 必要な具体策内での討議や検証を経て町の実情に沿う方策を検討していく必要がある。

問 議員報酬を増額すべきでは。

答 町長 専従とはならないので、どれくらいの金額が適当なのか、また町の状況も考えないといけない。

問 住民合意を得るため報酬審議会を開くべきでは。

答 町長 ここですぐ答弁することは控えさせていただくが、町民の考えも聞きながら検討する。

神石高原町の生き残り戦略は

問 基幹産業の農業振興策である、トマト新規就農者の募集は。

答 町長 資料の高騰により研修の再開は困難であるが、ブランド力維持のため総量の確保は必要だ。既存農家の規模拡大と併せあらゆる方法を検討し、生産量を確保できるよう努める。

問 和牛農家は子牛価格の低迷、飼料価格高騰により厳しい経営を強いられている。自給飼料増産の牧草地造成、水田の畑地化は出来ないか。

答 町長 広く関係者や県の意見も聞きながら検討していきたい。

問 稲作経営について生産経費削減、労働力不足の対策として水田の再整備は出来ないか。

答 町長 再基盤整備については、整備後の収益が20%増となることが条件にあり、高収益作物との組み合わせで整備していく必要がある。農業振興協議会で議論しているところだ。



刈り取りを待つ飼料稲(奥)

問 雇用確保のための工場用地の造成は。

答 町長 業種によって高速道路に近くなくてはいけないという事もあるが、検討していきたい。

問 観光施設の建設、充実は。

答 町長 観光施設は町内にもかなりあるが、上手く使えていない。今ある資源を開発し、町外の人にPRしていきたい。民間の力も借りていきたい。

問 観光農業の取組みは出来ないか。

答 町長 近隣の市町との状況も見ながら考えていく。

問 難聴対策 補聴器の購入助成を

答 補聴器活用は重要 支援を検討



よりさだ ひでゆき 議員
寄定 秀幸

問 聴力の低下に悩む高齢者が、自分に合った補聴器を積極的に活用

できるような購入費用の助成制度を創設すべきでは

答 町長 高齢者の難聴対策としての補聴器

の活用は、社会的孤立を防ぎ、認知症のリスクを軽減するために大変重要である。どのような支援ができるか情報を収集し検討したい。

問 認知症の人の尊厳ある暮らしを守る、「ユ

マニチュード」の普及に積極的に取り組むべきでは

答 町長 地域包括支援センターで学習会を

行い、「ユマニチュード」

の技法も含んだ対応方法を相談者へ伝えている。認知症の人の尊厳ある暮らしが守られ、だれもが認知症とともに歩めるよう啓発に努めたい。

健康づくり施策

問 健康経営への取り組みは

答 町長 令和5年7月、健康経営の支援に先

進的に取り組む公益財団法人「中国労働衛生協会」と連携協定を締結した。

食育、運動、心の健康など分野別の取り組みと、各年齢層、ライフステージに応じた健康づくり施策を推進する。

問 「森林セラピー」を保健・医療との連携

で、ヘルスツーリズムなど、積極的に推進すべきでは

答 町長 現役世代の健康経営に積極的に取

り組む企業・団体などと連携し、研修の受け入れなど、健康と観光を組み合わせた取り組みの推進が期待できる。森林セラピーのさらなるブラッシュアップを行い先進事例を参考に取り組みを推進する。

問 RSウイルス感染症対策への取り組みは

答 町長 RSウイルスにより、毎年6万人

以上が入院し約5000人が亡くなっている。他市町の状況を注視し、接種費用の助成制度の検討をしたい。

地方創生への取り組み

問 国の地方創生移住支援事業の一環として

新設された、「地方就職学生支援事業」への取り組みは

答 町長 東京圏の学生の地方就職、移住を

促進し一人でも多くの卒

業生が本町に移住できるよう、制度の活用に取り組みたい。

問 持続可能なまちに転換するための施策は

答 町長 第2期総合戦略を策定し「人口減少対策」に危機意識を持

ち取り組んでいる。現在、第3期総合戦略の策定作業を進めている。民間企業などとの連携

で、人口減少下でも、経済・財政・社会保障の持続可能性を確保し、心豊かに暮らせるまちの実現に取り組む。



神石高原町・ボーイスカウト・ティアガルテンの連携協定



かしわぎ よしお 議員
柏床 由夫

問 タブレットを活用した学習評価は

答 主体的・多様な学びに効果的

問 GIGA（ギガ）スクールでの、各学校の通信環境の課題は。

答 教育長 複数の児童生徒が一齐に検索するときや、教室以外の場所では検索するときなど、場所によっては繋がりにくい場合がある。

問 本年4月に文部科学省が通信環境の基準を示しているが、各学校の状況は。

答 教育課長 各学校でかがやきネットで契約し、国の基準をクリアしている。

問 学校現場で、つながりにくい時があると聞くと原因は。

答 教育課長 つながりにくい事案があったが、専門業者によるWiFiの環境や機器調整など現在改善を図っている。

問 現在、使用中のタブレットの課題は。

答 教育長 写真や動画の保存容量が少ないことや、ソフトのインストール数に制約がある。要因は、メモリー容量の不足や処理速度が十分ではないことが考えられる。機器のスペックは、小中学校とも統一した機器である。

問 パソコン教室の活用は。

答 教育長 総合的な学習の時間での調べ学習や資料印刷、図工・美術・技術科の授業などで活用している。また、委員会活動やクラブ活動などでも活用している。

問 委員会活動やクラブ活動での活用内容は。

答 教育長 委員会活動での資料作成や小学校では文化部のカレンダー作成などで使用している。

問 各学校でのタブレットを活用した学習内容の状況と、評価と課題は。

答 教育長 タブレットの活用状況は、校長研修や各校のICT担当者研修や、各研修での研究授業や授業参観などで状況把握している。

学校間格差については、授業での活用方法など格差は学校間でないとは言えない。

GIGAスクール構想の評価は、児童生徒の主体的な学びや多様な学びに効果的であると考えている。

課題は、指導者が授業を構成する中で、タブレットやICT機器を活用する機会を設定するこ

とや、タブレットを効果的に活用した授業に向けた授業スキルの向上が必要と思われる。

問 令和7年度からのタブレットの更新方法と更新後の旧タブレットの活用方針は。

答 教育長 更新方法は、広島県内の市町で構

成する広島県GIGAスクール推進協議会で、県および各市町の調達方式について整理している段階であり、タブレット端末の共同調達をする計画である。

また、旧タブレットの活用方針については、更新後に制約がない場合は、活用方法を検討したい。



タブレットを使った調べ学習

問 自然災害時の広域連携は

答 被災者の一時避難施設の提供など



おがわ よしひさ 議員 小川 善久

問 南海トラフ地震や長者ヶ原断層に関する地震の被害想定は。

答 町長 いずれも震度5弱～5強である。

物的被害は、南海トラフは全壊91棟、半壊228棟。長者ヶ原地震は全壊24棟、半壊167棟など想定されている。

問 想定の数値の根拠は。

答 総務課長 平成25年10月に広島県の専門家で構成された検討委員会により発生位置、マグニチュード、被災地の地盤の特性、建造物の耐震性を踏まえ、各市町ごとに想定されている。

問 本町の木造住宅診断事業の利用件数は。

答 建設課長 昭和56年3月31日以前建築の戸建て住宅に対して耐震診断の補助をしているが事業の実績はない。

問 備後圏域で発生した大災害に対して本町が行えることは。

答 町長 備後圏域連携協議会の構成団体内で災害が発生した場合、応急対策や復旧対策に係る応援を相互に行う協定を締結している。

本町が行うことができない支援は、食料や飲料水、生活必需品、資機材の提供、応急復旧などに係る職員の派遣、救助活動に必要な資機材の提供、一時避難施設の提供などだ。

問 一般家庭の備蓄物資で、普段使いの品物を少し多めに購入し、日常生活で使いながら、不足した分だけ買い足していく「ローリングス

ストック」という管理方法が各自治体でも広まっているが、本町の更新の方法は。

答 総務課長 食料・飲料水にそれぞれ賞味期限があるが、期限4カ月前ぐらいの食料品などを自治会の自主防災訓練などに活用している。飲料水の場合、以前は同様にしていたが、有事の際には手洗いやトイレなどに利用できるのも、生活水として再利用し、期限の切れた分だけ補充している。

人口減少対策は

問 これからの人口減少対策は。

答 町長 第2期総合戦略では

- ①子育てしやすいまちづくりの推進と将来を担う人材づくり
- ②若い世代が働きたくなる職場や環境の確保
- ③本町の魅力を伝える交



本庁舎備蓄倉庫で管理されている備蓄資材

流人口の拡大
④快適な日常生活が送れるまちづくりの推進を基本目標とし、42事業を毎年検証しながら行ってきた。政策の実行はできていても結果に結びついていない。

まちの魅力の発信や、広報の手法に検討の余地があると考ええる。また、移住後、長く住めるよう社会インフラの維持や、心の豊かさを実感できる医療・福祉の充実も重要と考えている。



はやし けんじ 議員

問 四仙人の着ぐるみの投資効果は

答 今後の活用を期待したい

問 令和5年度に制作された四仙人の着ぐるみの活用は。

答 町長 「神石高原四仙人衆」は観光協会がPR目的で作成したキャラクターで、著作権・

版権は観光協会に帰属します。着ぐるみ制作費は町が全額補助し、町内イベントへの参加や他の自治体のキャラクターとのコラボレーションなども予定されている。

問 費用対効果は。

答 産業課長 昨年度作成された四仙人の着ぐるみは、1年で5回使用されたが、今後さらに町内外で活用されること

で、神石高原町の名前が広まり、多くの人々が訪れるきっかけになると期待している。

地域おこし協力隊

問 平成29年以降の地域おこし協力隊員の定

着率が悪く、最新の募集にも採用がないが、分析と対応は。

答 町長 現在までに定住に至る人は21人中10人である。

熊出没や鳥獣被害対策の最新活動状況は

問 令和6年度から派遣を受けたフィールドアドバイザーの活動状況は。

答 町長 4月～8月の相談件数は28件だ。課題として、フィールドアドバイザーの活動報告が町へ円滑に伝わらないことがあったが、今後対応していく。

問 熊の出没・捕獲時の適正対応は。

答 町長 熊の捕獲は県登録の熊レンジャーが対応する。

国土強靱化地域計画の進捗状況は

問 町内の強靱化工事の予算執行状況はどうなっているか。

答 町長 令和6年度国土強靱化計画では、神石高原町がトンネル・橋梁補修で2億2300万円を執行済み。



観光協会で作成した四仙人衆の着ぐるみ

問 町の更なる医療の充実は

答 在宅医療提供体制の構築をめざす



よこやま もとこ 議員
横山 素子

問 小児科医師の町内配置については子育て世代から強い要望がある。9月から始まるオンライン診療について具体的な内容は。

答 町長 年間20人程度しか生まれないエリアでの小児科の配置は非常に難しい状況下で、夜間や休日における子育て家庭の不安を少しでも解消するため、この9月より小児科に限ったオンライン診療を、実証実験という形でスタートした。東京のファーストドクター株式会社と「夜間休日を守る医療連携」を行い、在宅でスマートフォンやパソコンで医師の診察を受けることができる。

また、保険適用で薬の処方も行われる。

問 更なる医療の充実は。

答 町長 医療の充実にについては、町立病院をはじめ、町内の医療機関と連携し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の深化を進めていくことが重要だと考えている。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、介護が必要になった時に自宅で生活したいと希望される町民が約6割を占めている。

今年度、地域医療の充実のための医療機関や介護施設へのヒアリング、オンライン診療の普及促進のための実態調査や、在宅医療の需要量などの将来推計を算定し、持続可能な在宅医療提供体制の構築をめざす。

認知症への理解を

問 認知症は誰もがなりうる病気だが、まだ

まだ認知症に対する偏見や差別が社会の中には残っている。現状と課題は。

答 町長 認知症に対する理解を深めるための取り組みを行っているが、現状は依然として一

部には偏見や誤解が残っているのも事実だ。

通いの場、サロン、老人会などに認知症地域支援推進員が訪問し、認知症の方へのかかりや予防、備えについて学習会を開催している。

さらなる啓発活動の強化が必要で特に、学校や地域の集会など、あらゆる世代を対象とした教育・啓発の場を設けるこ



認知症サポーター養成講座の様子

とで、若い世代から高齢者まで、認知症に対する正しい理解を深めていくことが重要だ。

AEDの設置状況

問 屋外設置や女性に配慮した胸部を覆う三角巾の配備はできないか。

答 町長 今年度の設置分3台は、屋外に設置する予定。次年度以降については、順次屋外設置に切り替え可能な施設から実施していく。三角巾の配備については今後検討する。

こんなことが決まったよ



工事請負契約の締結・変更

工 事 名：油木スポーツ広場サッカー場建設工事
請負金額：3億4980万円
請 負 者：村上建設 株式会社
工 期：至令和7年3月31日

全会一致

工 事 名：油木山村開発センター改修工事
請負金額：6983万円
請 負 者：有限会社 井上組
工 期：令和7年3月21日

全会一致

賛否の分かれた議案（条例の廃止）

○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席

議員賛否表									
神石高原中学校寄宿舎設置条例の廃止									
寄定	藤田	木野山	小川	久保田	横山	林	小川	柏床	橋本
秀幸	晃己	孝志	清治	龍泉	素子	憲志	善久	由夫	輝久
○	○	○	○	×	○	×	○	○	議長

賛成多数

議長は裁決に加わらない

神石支所改修工事の完成



神石総合センター開所式
(令和6年10月1日)

人権擁護委員の推薦（令和7年1月から3年間）

新 任：多田 幸夫さん 再 任：瀧川 浩さん
再 任：松岡 純夫さん 再 任：米山 文子さん

全会一致

全会一致

若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策を求める意見書

近年、処方箋がなくても薬局やドラッグストアで購入できる市販薬の乱用による依存症や急性中毒の増加が社会問題になっている。薬物の過剰摂取を繰り返すことで、肝機能障害や重篤な意識障害や呼吸不全を引き起こし、心肺停止で死亡する事例も発生している。

政府に対して、健康被害から一人でも多くの若者を守るため、オーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策を強く求める。

提出者 寄定 秀幸 議員
賛成者 小川 清治 議員

全会一致

教職員定数の改善および義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げを求める意見書

教育環境改善と学校の働き方改革を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数の改善と、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

提出者 柏床 由夫 議員
賛成者 木野山孝志 議員

議員発議

まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた
要望・意見・感想など主なもの

●「みんなの町議会」を配布して
いただけるので、色々町のこ
とが理解出来ます。

●「ありがとうございます。今年は
議員さんの選挙の年ですね。皆
さん頑張ってください。」

(油木地区、女性)

●毎回広報を送っていただき有り
難う御座居ます。時々色々なイ
ベントに参加させていただき楽
しみます。

●今年も夏祭りに参加しようと
思っています。

(福山市、女性)

●議会広報で紹介していただい
ている「地域カフェかみとよ」は
「地域かふえかみとよ」です。
表紙の写真にもありますので…

(豊松地区、女性)

●梅雨も明けてこれから本格的な
暑さになります。御身体に気を
付けて頑張ってください。

(神石地区、女性)

●町外への買物バスなど有ると助
かります。(上下・東城など)

(神石地区、女性)

●買物が遠くて不便ですね。近
くにパツ！としたスーパ－を
作ってもらえんかいのを…！

(三和地区、女性)

訂正とお詫び

79号に誤りがありました。

関係者の方にご不快な思いをさせて
しまい申し訳ありませんでした。

79号P12 (誤)上元地神楽団

(正)上本地神楽団

(誤)地域カフェかみとよ

(正)地域かふえかみとよ

議会広報常任委員会

第62回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉
をいれてください

- 1 God's ○○ サウンド
- 2 タブレットを活用した ○○○○ は
- 3 その名も高き ○○○

💡10月1日から はがきの値段が63円から85円に上がったよ！

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見な
ども記入してください。(メールFAX可)

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげ
ん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先 〒720-1522 神石高原町小島1701番地
神石高原町議会事務局「議会クイズ係宛」

●FAX 0847-85-4201

●メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

●締め切り ・はがき 令和6年11月8日(金)消印有効
・メール 令和6年11月8日(金)17時締切

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』な
どの目的以外には利用いたしません。



クイズの答え

- ① かみとよ
- ② サツカー
- ③ 農業

第61回 議会クイズ当選者

神石地区 藤井 睦子さん

おめでとうございます！

4年間ありがとうございました



私たち議員は、本年の12月4日に4年の任期を終えます。4年間議会に對しまして、町民皆様には、格別のご理解とご協力を賜り衷心より深く感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

4年間を振り返れば、新型コロナウイルス感染症拡大という今まで経験のない事態の対応から始まりました。感染症対策費やあらゆる支援金など国・県からの約28億円に及ぶ交付金活用により、町民皆様への影響を最小限に抑えられたと思います。

そのような状況下の中でも、役場本庁舎施設や町立病院施設を完成するなど、大型事業が行われました。

議会活動では、新型コロナウイルス感染症拡大制限され、思うような取り組みができませんでしたが、3年目になると感染も落ち着き、議会

活動を活発化するため、県内外での研修を行い、町政発展に繋がる施策の実現に向け取り組んでまいりました。

本年は、対話集会を子育て世代を対象に行い、各地区とも有意義な会でした。要望書として執行者に対し提出した結果、課題解決にいたった案件もありました。

町民皆様との対話が大切であり重要と認識し、町政に反映できるよう議会として取り組みなければならぬと思います。

次期の議会新体制でも、議会活動をより活発化させ、議員の質の向上や政策提案できる議会となり、そして何よりも町民に寄り添い誰もが幸せに暮らせる町を目指す議会に期待します。

神石高原町議会

議長 橋本 輝久

油木協働支援センター

その名も高き神石牛!!
〜伝統を繋ぐ〜

9月3日(火)、旧油木家畜市場を会場に「第94回神石郡畜産共進会」が開催され、神石高原町内から出品された肉用種26頭の内、「よしかつふく号」(合同会社ユキファーム前原)が優秀賞首席を受賞しました。

遡れば昭和2年2月、「神石牛・豊萬号」が大正天皇大葬の儀の際に霊轎車を引く奉引牛の大任を果たしたことはまごうことなき史実であり、伝統ある「神石牛」の流れを継ぐ「畜産共進会」には地元油木保育所や油木小学校の子どもたちも見学に訪れ、全国へ誇る「神石牛」の勇姿を身近で感じ、郷土の歴史を学ぶことができたようです。

さて、古い写真があります。これは昭和20年代後半から30年代前半にかけての市場筋を地域の方々が練り歩く様子を記録に遺したものです。

「当時の共進会(県大会)の様子ではないか?」という声も聞きますが、真相が定かではありません。事情のわかる人がおられましたら、油木協働支援センターへご連絡ください。

(0847-8210701)

賑やかな
モノクロ記憶に
何思う
錦艶やか
油木の山々
(詠人不知)



当時の三輪酒造前



当時の三階堂前



参 考 ふるさと神石郡(広島市神石郡友会)
写真提供 産業課 油木保育所
油木小学校 油木在住個人

表紙の紹介



ゴッテスサウンド実行委員会では音楽で地元を盛り上げるため、毎年秋に光信寺本堂をお借りし、イベントを開催しています。

編集後記

今春あたりから令和の米騒動ともいわれるコメ不足問題が起きました。今も続く減反政策、転作、食料安全保障上の不安は増大しています。インバウンド需要や、買いため、昨年のコメ不作など生産供給源が原因と言われています。

日本人の主食は昔からコメです。外国ではおむすびの人氣が高まっているとか

新米も出てきましたので、稲作文化を守りながらおいしい米飯を食べて健康に過ごされることを願います。

(久)

議会広報常任委員会

委員長 小川 善久
副委員長 柏床 由夫
委員 橋本 輝久
委員 寄定 秀幸
委員 久保田 龍泉

発行責任者 議長 橋本輝久
住所 広島県神石郡神石高原町小島一七〇一

TEL 0847-8913340
FAX 0847-8514201